

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 A C P 出前指導講師派遣事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 地域スポーツ課 地域・パラスポーツ振興係 電話番号：058-272-1111(内2621)

E-mail : c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,083 千円 (前年度予算額： 783 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	783	0	0	0	0	0	0	0	783
要求額	1,083	0	0	0	0	0	0	0	1,083
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・幼児期に楽しみながら体を動かすことで運動好きな子どもを育成し、生涯スポーツの基礎をつくるため、令和4～6年度の3年間、国のプロジェクトを活用して県内5圏域（5市）14園の対象児が継続的にA C P（アクティブ・チャイルド・プログラム）を行う「運動・スポーツ好きな幼児育成プログラム展開事業」を実施した。
- ・各年度末に対象児への体力テストを実施したところ、男女とも走・投・跳躍能力の全ての体力が大きく伸びる結果が得られたことから、県内の園及び小学校等へ普及するため、幼少期の子どもを対象に、日ごろから各指導者が中心となって運動遊び及び体力が高まるダンスを実践する体制づくりが必要である。

(2) 事業内容

- ・子どもに対する出前指導への講師派遣
- ・指導者に対する研修会への講師派遣
- ・保護者行事等への講師派遣

講師：大学教員、ダンス講師 等

対象：幼稚園・保育園・こども園等

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

スポーツ実施率向上における入口対策として、必要不可欠な事業であると考える。

(4) 類似事業の有無

有 学校体育指導事業費【体育健康課】

- ・幼児運動遊び（A C P）指導者講習会（集合型）
- ・遊びを活用した体力向上指導講習会（集合型）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	219	講師、補助学生、取組み状況の視察
報償費	864	講師、補助学生
合計	1,083	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県清流の国スポーツ推進条例
- ・第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画（I 生涯にわたる健康と生きがいづくりのスポーツ推進）

(2) 国・他県の状況

国：幼児期からの運動習慣形成プロジェクト スポーツ庁（R4～6）

他県：東海4県で同様の未就学児に対する運動促進施策の実施なし

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 繼続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

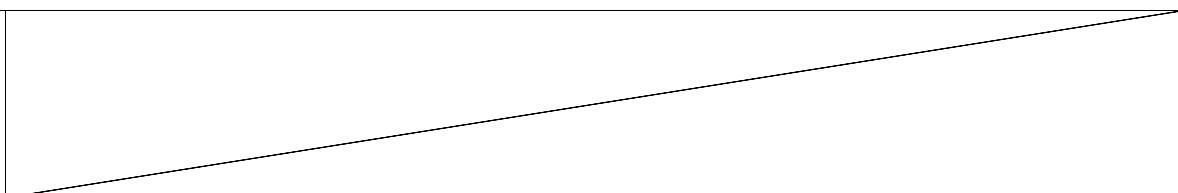
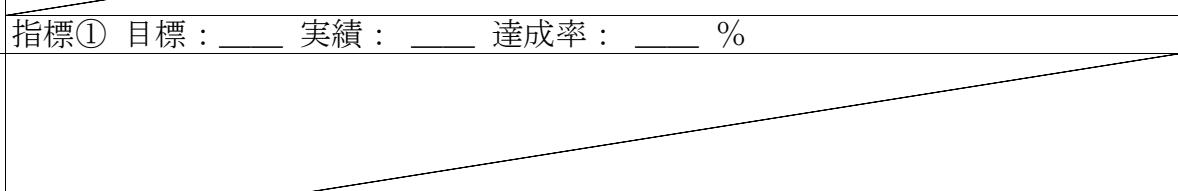
・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

R8までに5圏域50団体（幼稚園・保育所、小学校、少年団、地域クラブ等）に講師を派遣し、日常的な運動遊びを通して運動・スポーツ好きな幼児・児童を育成することで、将来的には県全体のスポーツ実施率や競技力の底上げに寄与する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8累計)	達成率
①派遣団体数			19	31	50	

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	子どもの体力低下は顕著であるため、幼児だけでなくその指導者に対して出前指導は、幼児期からの運動習慣が身につく事に繋がるため必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	「スポーツ・運動好きな幼児育成プログラム展開事業」(R 4～6)により、事業実施後の体力テストにおいて、数値の向上が見られ、事業の有効性が認められる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	出前指導により園の指導者が運動指導できるようになることで、園児らの日常的な運動遊びの機会が増える事になり、効率性は高い。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県民のスポーツ実施率の底上げを図るため、幼いころから運動に親しむ習慣づくりが大切である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

今後もA C P出前指導を継続して行い、園児や指導者への研修のみならず、保護者への啓発が重要であることも訴えていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	